

ごあいさつ

みなさまには、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここにディスクロージャー誌「第106期営業のご報告(平成25年4月1日～平成26年3月31日)」を作成いたしましたので、ご高覧いただきたいと思います。

本誌では、決算概要や業務内容、地域貢献に関する取組状況などをまとめており、当行について一層のご理解を深めていただければ幸いです。

当行は、平成26年4月より新中期経営計画「なんぎん維新II」～“地域力”クリエイティブバンクへの挑戦～をスタートさせております。前中期経営計画から取り組んできた新販路コンサルティング「WIN-WINネット業務」を更に深化させ、「本業支援」や「創業・新事業支援」により、お取引先とのリレーションを強化し、地域シェアを向上させ、更には信用コストの低減にも繋げていきたいと考えております。また、本計画に掲げた施策を着実に達成していくことにより安定的な収益構造を確立し、地域金融機関としてのプレゼンス(存在感)を高めていきたいと考えております。

昨年度、おかげさまで当行は創業100周年を迎えましたが、同時に次の100年へ継がる「第一歩」も踏み出しました。これからも役職員全員が同じ目線で、同じ目標を見据え、当行の新たな歴史を創り、常に『地域に密着し、真に地域の発展に役立つ銀行』を目指してまいりますので、みなさまにおかれましては一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



取締役頭取 森 俊英

平成26年7月

取締役頭取 森 俊英

CONTENTS

- 経営理念・中期経営計画 1
- 当行の考え方 2～4
- 中小企業の経営の改善及び
地域の活性化のための取組みの状況 5～6
- 平成26年3月期業績ハイライト(単体) ... 7～9
- 地域とお客様の発展のために 10～14
- 組織・ネットワーク 15～18
- 資料編 19～61

シンボル・マーク



「南日本銀行」の頭文字「M」をデザイン化したものです。楕円の1つは南日本銀行であり、もう1つは地域を表現しています。

2つの楕円が緊密な結合をし、地域と銀行、お客様と銀行、人と人との密接な関わり、信頼関係、また、銀行内のしっかりした団結をも意味しています。

「M」は変化し、限りなく拡大するイメージを想起させ、互いに寄り添い、シンプルな形状の中にも、銀行の持つ力強さ、未来性が表現されています。

本冊子は銀行法第21条に基づいて作成したディスクロージャー資料(業務及び財産の状況に関する説明書類)です。本資料に掲載してある計数は、原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しております。

当行の概要



| | |
|----------|---|
| 本店所在地 | 鹿児島市山下町1番1号 |
| 創業 | 大正2年9月4日 |
| 資本金 | 166億1百万円 |
| 店舗数 | 本支店65カ店 (本支店63・出張所2) |
| 従業員数 | 936人 (嘱託・パート・出向者含む) |
| 主要勘定(単体) | 総資産 7,287億円 預金残高 6,754億円 貸出残高 5,425億円 (平成26年3月末現在) |